

(株)日本政策投資銀行 (DBJ) によるイノベーション活動

株式会社日本政策投資銀行
イノベーション投資部

(1) DBJ のイノベーション活動

- DBJ は 2017 年に、営業全般を統括する“業務企画部”に“イノベーション推進室”を創設。アカデミーや企業研究所との交流を深めつつ、2020 年に DBJ 自身が主体的に事業参画し新産業を創り出すべく、経営参画型の deep tech 活動向け「Society5.0 挑戦投資制度¹」を創設した。
- 「新結合を促す触媒として、より良い未来の芽を探索し、共に創り、育てる」というミッションを掲げ、以下の通り業界を超えた新結合、イノベーションを促進するための取り組みを推進している。

➤ **共創基盤の構築**

産官学の関係者とイノベーションを創出するための土壌を創ることで、出向形式での人的交流やシンポジウム(DBJ iHub)の開催等を通して、共創の基盤となる場づくりを推進

➤ **事業参画**

これら基盤を活かし、事業に参画してイノベーションの創出そのものに取り組み、金融投資を通じた企業への伴走型支援を実施

➤ **未来価値創造**

構築した共創基盤や事業参画経験を活かし、広範かつ大局的なテーマを掲げて議論し、具体のプロジェクトに落とし込むことでイノベーションエコシステムを創っていく。これらの触媒機能を通じて、持続可能で、人がより良く、幸せに生きられる未来を創造することを目指す

- 共創基盤の構築として、特に以下の組織との連携を中心に活動
 - ・ **産業技術総合研究所 (産総研)**
 - ・ **新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)**
 - ・ / **沖縄科学技術大学院大学 (OIST)** 組織連携、人事交流
 - ・ / **笹川平和財団 (SPF)** 人事交流
 - ・ **宇宙航空研究開発機構 (JAXA)**
 - ・ / **科学技術振興機構 (JST)** 関連委員や特任フェロー就任
 - ・ **Business Finland (フィンランド国)**
 - ・ / **ST Engineering Ventures (シンガポール国)** 組織連携
- 加えて、国の各種委員会への参加を積極的に行い、国家戦略及び財政政策に対して責任ある立場を保持しつつ金融活動との融合を図っている。参加する組織やテーマの抜粋は以下の通り。

内閣府：新たな国際標準戦略・重要領域・戦略領域 WG 有識者・座長 等

文科省：中小企業イノベーション創出推進事業(SBIR) 総括プログラムマネージャー、科学技術・学術審議会専門員 等

経産省：中小企業イノベーション創出推進事業(SBIR) 統括運営委員会委員、グリーンイノベーションアカデミー講師 等

世界経済フォーラム：グローバルリスク研究メンバー、ヤンググローバルリーダー、アジア地域ボードメンバー

JAXA：出資委員、宇宙戦略基金テーマ審査員 等 など

¹ https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2020/html/20200706_202678.html (2020/7/6「イノベーション活動への新たな挑戦～「Society5.0 挑戦投資制度」創設と「知の価値化」～」)

(2) Society5.0 挑戦投資による取組一覧

テーマ	投資先	概略
パワー型蓄電池	エクセルギー・パワー・システムズ (株)	東大発、高速充放電
空飛ぶクルマ	(株) SkyDrive	eVTOL、電動垂直離着陸機
遠隔 I C U	(株) CROSS SYNC	横浜市大発、ICU患者の遠隔管理
半導体新素材	(株) FLOSFIA	京大発、酸化ガリウム
高度水処理	WOTA (株)	世界水問題の構造的解決
大学	OIST-Lifetime Ventures Fund	沖縄科学技術大学院大学発、事業化
AI	avatarin (株)	ANAHD発、マルチモーダルAIサービス
3Dプリンタ	3DEO Inc.	(米国)小型3Dプリンター技術
新型蓄電池	TeraWatt Technology Inc.	新設計による高性能・高安全性次世代蓄電池
新型洋上発電	(株) アルバトロス・テクノロジー	全く新しい発想による洋上風力発電
衛星利活用	(株) 天地人	JAXA発、異種衛星データ統合による利活用
拡張生態系	(株) SynecO	ソニー発、生物多様性の向上
量子コンピュータ	Qolab.Inc	(米国)超電導型量子コンピュータ
複雑合金設計	Alloyed Limited	(英国)オックスフォード大発、数学的合金設計

- これら deep tech 企業への投資及び取締役兼務などを通じて、主体的に活動中（詳細はプレス発表参照）
- 別途、(株) 先端技術共創機構（ATAC、(株) IGPI グループ系）への出資及び連携を通じて、アカデミア発技術の事業化にかかるノウハウの相互共有を図っている
- なお、(株) SynecO はインパクト評価の手法によって、試算なるも社会的価値創造を客観的に評価している

(DBJ 統合報告書 2024 https://www.dbj.jp/pdf/CSR_disclo/2024/DBJIntegratedReport2024.pdf 29 頁参照)

(3) 活動のガバナンスやご助言

- 産業構造の激変、不安定な世界情勢、地政学リスクや気候変動など、不連続な社会で**数十年～数百年先の未来を見据え、私たちはどんな未来の当たり前を創るべきか、世界の共有善は何かなど、大局的な観点で対話する場**として、以下の協議体において活動の助言を得ている

【(既設) 共創アドバイザーボード】

- ✓ 2022 年組成。現在 8 名の有識者によって活動の実務においてご助言を得ている
(イェスパー・コール様 (ストラテジスト、OIST 理事等) 他)

【(新設) BoC (Board of Councilors) for DBJ Innovation Activities】

- ✓ 国家戦略やグローバルな視点から、国家としての将来像を考えつつ活動の方向性をご議論いただく（概要は（5）参照のこと）

(4) 今後の活動方針

- 2025年4月より、“イノベーション投資部²”へ改組（DBJとして部の新設は2020年6月以来約5年ぶり）

【活動コンセプト】

[人類の幸せのために我々ができること]

[Everything we can do for the happiness of humanity]

社会的経済的活動は人々の幸せのためにある

企業活動が、科学技術が人々の本当の幸せに貢献するために何をすべきか

原点に立ち戻って考えることが必要

日本国が、日本や世界に住むすべての人々が支え合いながら幸せに暮らせるためにどう貢献していくか

世界中で垣根を超えた真の交流を持ちながら、金融で表現し貢献していくこと

これまでの常識を超えて、活動していくこと、国が保有する組織として恥ずかしくない貢献を

【活動の方向感】

- ✓ deep tech スタートアップへの投資を通じて、国研や企業との連携をさらに強化し、新産業創造への挑戦を続ける
- ✓ Society5.0 挑戦投資の全体投資枠：130 億円（第5次中期経営計画期間中の全体アセット想定額）
- ✓ 海外機関や OIST との更なる連携強化や、スタートアップの成長過程を連続して支援するファンドの創設などの企画も検討中

【領域として考える支援】

- ✓ いわゆる“投資領域”は定められないものの、科学技術を主とする姿勢を不変として以下を活動の土台とする

◆ Human Area_我々の生活

：“ヒトとヒトとの助け合い”の気持ちを手伝い、ヒトの幸せに貢献するか

◆ Earth Area _我々の地球

：“ヒトと地球の助け合い”の気持ちを手伝い、地球の幸せに貢献するか

(5) 有識者からのご意見、ご期待

- 今夏、DBJ innovation Hub (iHub セミナー)にて BoC *の発足にかかるカンファレンスを開催予定有識者の対談形式を中心に、関係する省庁なども参加して以下のテーマを検討中

「（仮称）日本発のイノベーションのあるべき姿」

² https://www.dbj.jp/upload/dbj_news/docs/4efba1c9035d9d2cbd6cb7286697bccd.pdf (2025/3/31 組織変更に関するお知らせ)

(評議員ご就任について、ご内諾頂いた方々)

-角南 篤 様 (公益財団法人笹川平和財団 理事長)

国家戦略やグローバルな観点から

-小宮山 宏 様 (株式会社三菱総合研究所 理事長)

アカデミーや教育の観点から

-イエスパー・コール 様 (マネックスグループ株式会社 専門役員、沖縄科学技術大学院大学 理事)

グローバルビジネスや金融の観点から

-山崎 直子 様 (公益財団法人日本宇宙少年団理事長、元 JAXA 宇宙飛行士)

新分野開拓や極限值の人類活動の観点から

-太田 充 (株式会社日本政策投資銀行代表取締役会長)

財政や国家政策の観点から

(イエスパー・コール 様からのコメント)

Japan has got what it takes to be an innovation superpower, but global competition and technological breakthroughs keep accelerating. DBJ plays an indispensable role in leading by example to identify new opportunities, take calculated risks and coordinate innovation impact on society.

Japan's future prosperity depends on openness to new thinking and coordinated risk taking. DBJ is unique in its commitment to not just study new complexities, but actually turn them into multi-stakeholder friendly realities. I am proud to be part of this new initiative that will energize Japan's curious innovation spirit.

以 上